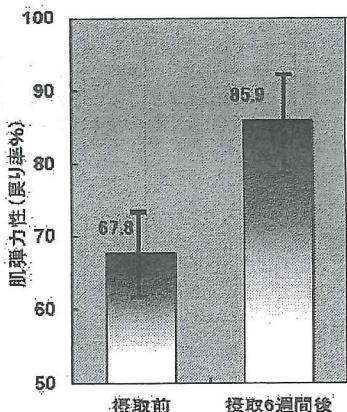


コエンザイムQ10γC/D包接体

ビタミンCとの併用で高い美容効果を発揮

シクロキストリンによる素材の生体利用能向上についてさまざまな研究を行っているシクロケム(東京都中央区、〒103-5061 4-7147)は、美容素材として「吸収型コエンザイムQ10(CoQ10)」「ビタミンC」の併用効果を提案している。



摂取前と各摂取後を統計解析 n=10

シクロケム

吸収型CoQ10とは、

酸化型CoQ10をγ-シクロキストリン(γC/D)で包接することにより、体内での吸収性・安定性・持続性を向上させたもの。健康者72人を対象とした試験では、その有意性が確認されている。

さらに、酸化型CoQ10とビタミンCを同時摂取すると体内で還元型CoQ10に変化することが判明しているため、吸収型CoQ10とビタミンC

を同時摂取することで高い美容効果が期待できる。

そこで同社はその「吸収型CoQ10+ビタミンC」の美肌効果について、ヒトを対象とした検証を行った。10人に、吸収型CoQ10とビタミンCを配合したサプリメントを1カ月間摂取させ、キメの体積率、平均深度、個数を評価。その結果、キメの状態は全員向上することが確認された。

ただし、季節的な変動の可能性を否定できないため、反対の季節に2回目の検証を実施。喫煙者男女9人ずつ18人を対象として1回目と同様に吸収型CoQ10とビタミンCの配合サプリメントを6週間摂取させ、肌のキメとシワの変化を評価。その結果、1回目と同様に、

に、キメの状態は有意に良好となることが確認された。

また、2回目の実験では肌の弾力性についても評価を行った。被験者の右耳朶下の付け根から右唇端までの4センチの部分を環境調整室にて測

定したところ、50代の女性平均よりも低かった弾力性は、摂取6週間後に20代女性の平均近くまで向上する結果が得られた「グラフ参照」。

「グラフ参照」
ビタミンCは、体内で肌のキメに関わるコラーゲンの原料「ヒドロキシ

プロリン」を作り、酸化型CoQ10は線維芽細胞を活性化させてコラーゲン産生を促し、さらに還元型となったCoQ10とビタミンCが抗酸化物質としてコラーゲンを活性酸素から保護したとみられている。